

エピテーゼを利用した欠損部位の修復

～アピアランスケアによる QOL 向上支援～

欠損とは口腔内における歯牙だけでなく、体の表面など様々な部分に対してもおこりえる。怪我、がん、先天性と原因は様々であるが体の一部が欠損していることで「人とは違う」「なぜ自分だけ」と悲観的になってしまう人は多い。そんな見た目の問題で悩み苦しんでいる方々に弊社ではエピテーゼやソマトプロテーゼを製作し、少しでも前向きに日々の生活を送ってもらえるようサポートするとともにアピアランスの問題がいかに関メンタルに影響するのか症例を交えて紹介していきたい。

エピテーゼ・ソマトプロテーゼのマテリアルデザイン

～外部彩色の体験～

本日は様々な部位のサンプルを手にとって見ていただき、柔らかさ硬さの違いや質感などを感じて頂きたい。

エピテーゼやソマトプロテーゼの彩色においては、赤や青、緑や黄色など「肌色」以外の色で彩色を行う。実際にエピテーゼの外部彩色のデモンストレーションを見ていただき、参加者の方々にもエピテーゼの外部彩色体験を楽しんでいただきたい。

エピテーゼとは

腫瘍、外傷、炎症、先天奇形などが原因で生じた顔表面の実質欠損を非観血的に、あるいは手術との併用により人工物で補填修復し、その形態的・審美的改善とともに、発語などの機能障害・能力障害の回復をはかる補綴装置。生体表面に装着するものを「エピテーゼ」、生体内部に装着するものを「プロテーゼ」と分ける場合もある。

ソマトプロテーゼとは

血行障害、腫瘍、感染症、外傷、先天奇形、神経疾患などの原因により、四肢、体幹の一部に生じた欠損に人工物を用いて、形態や機能を回復させる補綴装置。一般的には義肢をさし、装飾義肢、作業用義肢、能動義肢、動力義肢に分類される。義手、義足、義乳房、義皮膚なども含まれるが、目的の違いから、四肢、体幹部に外装する装具とは区別される。